

企画セッション「経済学者のキャリアとしての国際機関業務」

応募者氏名：吉田 昭彦

応募者所属：国際通貨基金アジア太平洋地域事務所長

企画の趣旨

本企画セッションでは、国際通貨基金（IMF）など、国際的な貿易・開発や金融活動の安定・促進を目的とする国際機関において、経済学の知見がどのように活用されているか、最近の業務に関連した研究内容を紹介するとともに、日本の経済学研究者や経済学を修得した学生に、幅広い活躍の機会が開かれていることを周知することを目的とする。具体的には、国際機関における職務内容や職場環境への理解を深めるために、現職職員や勤務経験者による発表を行うとともに、パネルディスカッションと質疑応答を行う（使用言語は日本語を想定）。

IMFをはじめとする国際機関では、職員構成の多様性を促進する観点から、日本人を採用することへの潜在的なニーズが高い一方で、実際の出願や採用の件数は低い状態にとどまっている。今回のセッションでは、国際的な貿易・開発や金融活動の安定・促進を目的とする主要な国際機関（IMF、世界銀行、アジア開発銀行など）が協力して、国際機関での勤務経験を有する識者による報告及びパネルディスカッションを行い、セッションの参加者に、国際機関の業務内容や経済学がどのように使われているかを周知し、研究者や経済学を修得した学生にとってのキャリアパスの一つであることを明らかにするとともに、国際機関の業務内容や採用プロセスへの理解を深める機会としたい。

※セッションの流れ（今後変更の可能性あり）

0：00～0：12

国際通貨基金の業務内容及び日本人職員採用に向けた取組について

報告者：国際通貨基金アジア太平洋地域事務所長 吉田昭彦（賛助会員）

0：12～0：24

研究者としての経験

報告者：東京都立大学教授 宮本弘暁（会員）

0：24～0：36

世界銀行の業務内容及び日本人職員採用に向けた取組について

報告者：世界銀行東京特別代表 米山泰陽（非会員）

0：36～0：48

研究者としての経験

報告者：世界銀行又はアジア開発銀行勤務経験者（未定）

0：48～1：00

アジア開発銀行の業務内容と日本人職員採用に向けた取組について

報告者：アジア開発銀行駐日代表 田村由美子（非会員）

1：00～1：30

各国際機関で求められる適性及び職場環境について（報告者によるパネルディスカッション・質疑）

（モデレータ：上田淳二・財務省財務総合政策研究所総務研究部長（会員））